

〔記載例 2〕

現 認 証 明 書
災 害 状 況 報 告 書

——被災現場を目撃したものがいる場合には現認証明書として、いない場合には、災害発生
の通報を受けた職員からの災害状況報告書として作成する

被災職員	所属部局	〇〇市〇〇局清掃事業所
	職・氏名	業務員 岡山 太郎
災害発生日時		平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時 〇〇分ごろ
災害発生場所		〇〇市〇〇町〇〇番地先路上
災害発生 の 状 況 等	私は上記日時、場所で岡山さんと一緒に じん芥の収集作業をしていました。	
	急に岡山さんが「痛い」と言ったので、岡山 さんの方を見ると右足の作業ズボンが破けて 血がにじんでいました。	
	「どうしたのか」と豊くと岡山さんが「ポリ袋の 中に入っていたガラスの破片で切った」と言っ ていました。	
	あぐ岡山さんに付添って近くの〇〇医院へ行き 治療を受けさせました。	
	じん芥の中にはガラスの破片、古くき等 危険なものが混っていることが時々あります。	
	参考事項	
上記のとおり現認・証明します。 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日 現認者住所又は所属 〇〇市〇〇局清掃事業所 職・氏名 業務員 〇〇〇〇〇 (印)		

— 現認者（証明者）自身の立場からみた被災状況を記入してください（認定請求書の「災害発生状況」と同じ表現は避けてください）

注：「災害発生状況等」の欄には、当該事故等の際、そこに居合せた事情、その際に目撃したことから、及び現認者のたずさわった事後処置等を記入し、「参考事項」の欄には、現認者において知り得た当該災害認定及び補償上参考となることからを記入すること。

現認者がなく、災害発生報告があったときは、通報を受けた職員が受報の事実を証明すること。